



Monthly Guide 2021年7月号

りそなグループのYouTubeで、最新のマーケット情報を配信しております！



主要マーケットの動き

■世界株式は5カ月連続の上昇となりました。経済活動の再開が進んだ欧州株が牽引役となる一方、緊急事態宣言が続いた日本株は積極的な買いが見送られ、日経平均株価はほぼ横ばいで終わりました。

■米国債券市場では、FRBが金融緩和の縮小方針を示唆したことから短期・中期金利が上昇する一方、長期金利はインフレ期待の後退から低下傾向となりました。ドル円は1年3カ月ぶりに111円台を付けました。

● 今月の金融環境



米国

パウエルFRB議長は6月会合で、1200億ドル/月規模の資産買い入れの縮小に向け議論を開始したことを明らかにしました。FOMCメンバーの政策金利見通しでは2023年末までの利上げ開始予想が過半数を占めました。



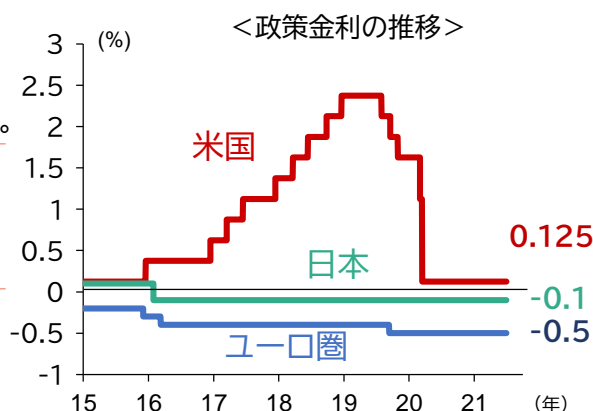
欧州

ECB(欧州中央銀行)は6月理事会で資産買い入れの加速ペースを次の四半期も継続すると決定し、緩やかな姿勢を維持しました。



日本

日銀は6月の会合で新型コロナ対策の資金繰り支援を22年3月まで半年間延長することを決定しました。月中には2カ月ぶりにETF買い入れを実施しました。

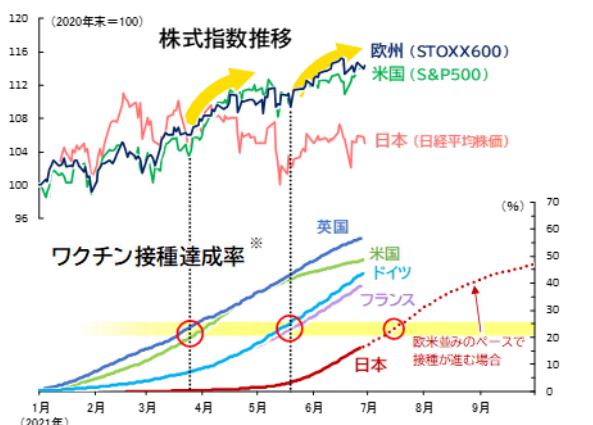


● 今月の注指標 ワクチン接種進展で日本株は出遅れ解消なるか

米欧の主要株価指数が最高値を更新する一方、日経平均株価は3月以降、2万9000円前後での横ばい推移が続いています。日本株の出遅れの背景には、緊急事態宣言等に伴う活動規制により経済の正常化が遅れていることが挙げられます。

米欧では、ワクチン接種達成率が20~25%に達した時点で、経済正常化の期待が高まり、株価指数の上昇に弾みがつく展開となりました。米英では3月下旬、独仏等の欧州大陸主要国では5月下旬に達成率が20%を越えています(右図)。

日本でも、5月半ば以降はワクチン接種が加速し、7月末までには接種達成率が2割を超えると見られます。米欧と同様に、経済再開期待が高まり日本株の出遅れ解消につながるか、注目されます。



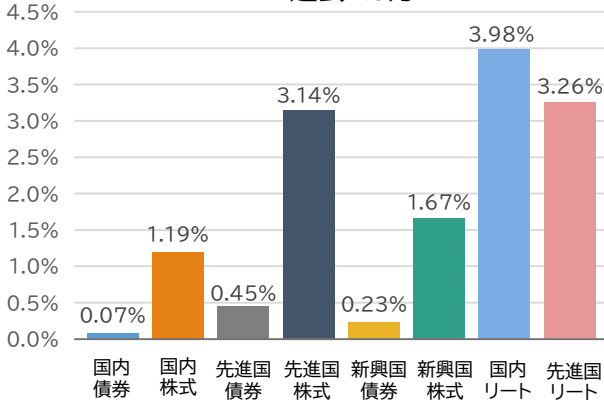
※ワクチン接種達成率:累積接種回数を人口の2倍で割ったもの。100%で全人口2回接種完了と同程度。日本の達成率点線部分はりそなアセットマネジメント見通し。

【出所】 Haver analytics、ブルームバーグ、Our World in Data、内閣府の公表データ等に基づき、りそなアセットマネジメントが作成
 ※本資料の使用に際し、最終ページの<本資料に関するご注意事項>をご覧ください。

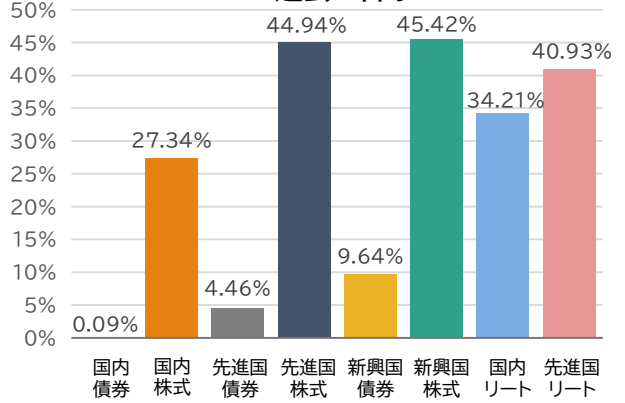
6月末基準

各資産別 月間騰落率と振り返り(円換算ベース)

過去1ヵ月



過去1年間



※ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメントが作成。※国内債券：NOMURA-BPI総合、国内株式：東証株価指数(TOPIX、配当込み)、先進国債券：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、先進国株式：MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、新興国債券：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)、新興国株式：MSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円換算ベース)、国内リート：東証REIT指数(配当込み)、先進国リート：S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)

国内債券

10年国債利回りは米長期金利との相関が高まり、月末値は0.06%と2ヵ月連続で低下しました。日銀は政策決定会合で、新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラムを22年3月まで6ヵ月延長することと、気候変動対応支援のための新たな資金供給策の導入を決定しました。5月コアCPIは前年比+0.1%と10ヵ月ぶりにプラスに転じました。

国内株式

日経平均株価は2万9000円を挟んだ横ばい圏での推移となり、月間では▲0.2%で終わりました。TOPIX(東証株価指数)は+1.1%と2ヵ月連続の上昇となりました。東証33業種では、長期金利低下を受け、銀行業、保険業の下落が目立つ一方、海運業、鉱業、ゴム製品が騰落率上位となりました。

先進国債券

米10年国債利回りは1.4%台まで低下しました。6月FOMC(連邦公開市場委員会)で2023年中の利上げ開始が示唆されたことで短期金利が大幅上昇する一方、長期金利についてはインフレ期待の低下観測から低下傾向となりました。欧州では、長期金利は小幅上昇しました。ECB(欧州中央銀行)は資産買入の加速ペースを維持することを決定しました。

先進国株式

米国ではS&P500とナスダック総合指数が最高値を更新しました。FOMCで利上げ前倒しが示唆されたことから一時売りが膨らむ場面がありましたが、パウエルFRB議長が早期利上げ観測を牽制したことで直ぐに落ち着きを取り戻しました。欧州では、感染抑制策の緩和による景況感改善を背景に、STOXX600指数と独DAX指数が最高値を更新しました。

新興国債券

新興国債券(円建て)は、4ヵ月連続で上昇しました。国別では、金融政策の方向性の違いがパフォーマンスの明暗を分けました。月中に利上げを実施したブラジル、ロシア、メキシコがプラスとなる一方、緩和姿勢を続けるタイ、南アフリカは通貨安が響き、マイナスで終わりました。

新興国株式

新興国株式(円建て)は、9ヵ月連続で上昇しました。セクター別では、原油高を支えにエネルギーが牽引役となりました。国別では、感染拡大が続く南アフリカがマイナス寄与となる一方、中国、韓国、ブラジルのプラス寄与が目立ちました。

国内リート

東証リート指数は、8ヵ月連続でプラスとなりました。株式に比べた出遅れ感の解消が進み、コロナ前の高値まであと5%弱に迫りました。用途別指数では、住宅、商業・物流指数の上昇が目立ちました。日銀によるリート購入は先月に続き見送られました。

先進国リート

先進国リート指数は、8ヵ月連続で上昇し最高値を更新しました。経済再開期待と長期金利の低位安定から幅広い投資家層からの資金流入が続いています。地域別では感染が再拡大する英国を除く大半の国が上昇しました。セクター別では、ヘルスケア・産業施設の上昇が目立ちました。

<本資料に関するご注意事項>

○本資料はりそなアセットマネジメント株式会社が作成した投資環境等に関する情報提供資料であり、販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。○本資料の作成にあたり当社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示されている当社の見通し、予測、予想、意見等(以下、見通し等)は、それぞれ作成時点のものであり、将来予告なしに変更されることがあります。また当社の見通し等は、将来の景気や証券価格等の動きを保証するものではありません。取引時期などの最終決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。○本資料に関わる一切の権利はりそなアセットマネジメント株式会社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを固くお断りします。
<ファンドの設定・運用> ■りそなアセットマネジメント 商号等/りそなアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会